

12月14日に9人が一般質問をしました。

一般質問とは…議員が村長などの執行機関に対して、事務の執行状況や将来に対する方針など、諸問題について報告や説明を求めたり、質問することをいいます。

一般質問項目一覧

- ①伊藤 豊 議員……………5ページ
 - 1. 通学路における安全対策
- ②鈴木 康 祐 議員……………6ページ
 - 1. 交差点に右折信号の設置を
- ③上田 光彦 議員……………7ページ
 - 1. 証明書のコンビニ交付を
 - 2. 雨水タンク設置の補助を
- ④井田 晴己 議員……………8ページ
 - 1. 収入制限を設定なしで支給を
 - 2. 3回目のワクチン接種計画は
- ⑤伊藤 秀樹 議員……………9ページ
 - 1. 飛島学園の給食費無償化を求める
- ⑥中山 恵美賀 議員……………10ページ
 - 1. 飛島学園の子どもたちの心身の健康は
 - 2. 持続可能な暮らしへ
- ⑦橋本 涉 議員……………11ページ
 - 1. 介護保険料を一般会計の繰り入れで値下げせよ
 - 2. ピラミッド公園を整備し、子どもたちが遊べる公園にせよ
- ⑧八木 敏一 議員……………12ページ
 - 1. 補正予算編成のガイドラインはあるか
 - 2. 介護保険事業費が増加しているのは、どうしてか
 - 3. 村長の考える行財政改革とは、何か
 - 4. 執行機関と議決機関との関わりは
- ⑨小川 政徳 議員……………13ページ
 - 1. 消防団員への活動支援を
 - 2. 来年度のプレミアム商品券は

ズバリ!!
村政を問う

一般質問

Q通学路における安全対策

A安全対策を検討し行っていく



伊藤 豊 議員



加藤 光彦 村長

問

梅之郷地区の通学団集合場所付近は事故が多く、児童が横断する際にはとても危険な場所になっています。

一灯式信号機が設置されておりますが、一灯式信号機は全国で撤去が推進されているようです。今後、一灯式信号機の故障の際、新たに部品が入手できず、撤去される

答

○村長

村内には7基の一灯式信号機が設置されていますが、蟹江警察署に確認しましたところ、1〜2年で撤去する方針であると伺っています。一灯式信号機撤去後は、安全確認が疎かにならないように、通過車両への注意喚起として、看板設置や路面標示等の対策を考えています。

また、学園での安全教育の推進を図るとともに、通学路の一点検を行い、危険箇所を把握し、優先順位の高いところから対策を行っていきます。

保護者から減速ロードハンブ設置の要望があるのですが、いかがでしょうか。

答

○建設課長

設置により騒音や振動が発生することが懸念されますので検討が必要だと考えますが、地区から要望がありました箇所につきましては、設置に向けて調整します。

問

保護者から減速ロードハンブ設置の要望があるのですが、

いかがでしょうか。



梅之郷地区の一灯式信号機

問

電光掲示板設置も検討いただけますでしょうか。

答

○建設課長

地区より要望されたところについては、十分に調査を行い、設置について検討します。

○伊藤豊議員

危険な場所であるため、防犯カメラ設置も要望いたします。



村内の減速ロードハンブ設置箇所

Q 交差点に右折信号の設置を

A 各道路管理者へ設置要望する



鈴木 康祐 議員

問

過去、平成28年と29年の議会でも要望して、国道23号の竹之郷交差点には、右折信号が設置されました。設置以前には忘れた頃に大きな事故があり、渋滞を避ける車両が村内の至るところを走り回っていました。



竹之郷交差点



飛島大橋南交差点信号機



木場一丁目地内の交差点

今回要望する箇所は、

国道302号の飛島大橋南交差点と、木場一丁目の新設堤防道路に入る交差点です。この交差点では、右折車が曲がり切れずに何回も信号待ちをしているのを見かけます。関係機関にこの窮状を理解していただき、早急に右折信号の設置をするよう要望します。

答

○村長

要望のありました2カ所の交差点は、多くの車両が右折を待っているのを確認しています。本村としましてもそれぞれの道路管理者に、右折矢印信号の設置要望をしたいと思えます。

一般質問の録画映像を配信しています

議会閉会后約2週間後から、一般質問の録画映像をご覧ください。
また、議会の詳しい内容は、村公式ホームページ、図書館に備えてある会議録をご覧ください。

<https://www.vill.tobishima.aichi.jp>





上田 光彦 議員

Q 証明書のコンビニ交付を

A 利便性を見極めながら判断していく

問

会社や学校が遠隔地にあり、急に住民票等の証明書が必要になったときに、役場に申請に行く時間がなく、また、申請し忘れてしまったときなど、行政サービスのひとつとして証明書のコンビニ交付ができるようお願いしたい。

答

○村長

県内54自治体中、34自治体が導入しているが（11月末現在）、導入コストが約1200万円、運用コストが毎年約140万円必要です。また、コンビニ交付サービスを利用する際には、マイナンバーカードが必要となるため、まずは、交付率向上に努め、導入については、費用対効果や利便性を見極めながら判断したいと考えます。

問

外出先で住民票が必要な場合がありますか。

答

○住民課長

広域交付で、この市町村でも取得することができます。

証明書のコンビニ交付は、コストが高すぎて、今の時点では導入すべきではないと思うが、行政サービスと考えて今後の導入に備えてください。



Q 雨水タンク設置の補助を

A 本村としても

前向きに検討していく

問

災害時に断水した際、水の確保が必要で、雨水タンクは動力を使わないので、脱炭素・SDGsに合致していると考えるが。

答

○村長

水資源の有効活用を促進し、SDGs推進のため有益と考えます。雨水タンク設置の補助制度の導入について、前向きに検討します。





井田 晴己 議員

Q収入制限を設定なしで支給を

A国からの基準に合わせ支給する

問 12月議会定例会
初日に可決決定さ
れた子育て世帯への臨時
特別給付金については、

国が新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、18歳以下の子育て世帯への臨時特別給付金10万円の支給を決定されました。支給に対しては、所得の範囲や制限は児童手当に準じて設定されています。12月末には5万円の支給が始まり、残り5万円は来年3月にクーポンにて支給が検討されています。

また、来年少給予定の5万円のクーポンについても現金支給して頂けないか伺います。

答 ○村長
本村においても、今定例会の初日に給付にかかる補正予算を議決いただきましたので、まずは、児童手当を受給している中学生以下のお子さんのある世帯には、子ども1人当たり5万円を12月27日に支給できるように準備を進めているところです。

「収入制限を設定しないで支給を」とのご意見がありますが、国から示された基準のとおり事務を進めてまいりたいと考えています。

また、残り5万円の支給につきましても、現金でかつ、できる限り、早急に支給できるように対応させていただきます。（議会最終日に残りの5万円についての予算が議

決され、10万円の一括現金支給となりました。また、1月の臨時議会において、収入制限により対象外となった方へ独自の給付金の予算が議決され、10万円が支給されることとなりました。）

Q3回目のワクチン接種計画は

A3回目接種に向けて計画を進めています

問 現在、新型コロナウィルス感染症
につきましては、感染が
抑えられているところで
あります。

しかし、国はワクチンの効果が減少するため、3回目のワクチン接種を決定しました。

ワクチン接種については、2回目の接種から原則8か月経過した者で、12月からは医療従事者からワクチン接種が開始されました。

村は、ワクチン接種に関し、広報および村ホームページで周知されておりますが、どのように予約するのか詳細等が分かりにくいいため、今後の接種計画をお聞かせください。

また、ワクチン接種について、集団接種が個別接種か併せてお聞かせください。

予約時の混雑や自ら予約が難しい方に対応するため、接種日時は、村が指定します。

集団接種の開始は、土日 を接種日とし、1月30日から予定しています。

新株の流行が懸念されるため、8か月以上を待たず、前倒しでの接種も検討しています。

持病等の理由で集団接種が難しい方には、医療機関でも接種できる体制を調整中です。

答

○村長

3回目のワクチン



新型コロナウィルスワクチン（ファイザー社製）

Q 飛島学園の給食費無償化を求める

A 課題を整理し前向きに検討する



伊藤 秀樹 議員



給食の様子（飛島学園）

問

コロナ禍において、給食費の無償化がされたが、継続的に無償化にはどうか。

答

○村長
学園給食については、食育の観点から

問

今回行われた無償化の実施状況は。

答

○教育部長
令和2年度および令和3年度に6か月間ずつ実施しました。

問

全国の給食費無償化の実施状況は。

答

○教育部長
給食費無償化は、小さな自治体での実施が多く、全国的には5%程度進んでいる状況です。

問

給食費の無償化はどのような制度を利用して実施したか。

答

○教育部長
国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施してきました。

問

無償化した場合に、かかる費用は。

答

○教育部長
年間で生徒1人当たり、前期課程で4万円程、後期課程で5万円程、総額で2000万円程の財源が必要となります。

問

無償化するとしたら、いつ頃から実施する考えか。

答

○村長
子どもたちにより良い給食を食べてほしいという気持ちがありますので、課題等を整理し、令和5年4月からの実施を目指していきたいと考えます。

○伊藤秀樹議員
なるべく早く実施することを願っています。



減農薬野菜を使用した給食（飛島学園）



中山恵美賀 議員

Q飛島学園の子どもたちの心身の健康は

A子どもたちに寄り添った指導を進める

どう取り組まれていくのか。

答

○教育長

子どもたちの心のケアについては、スクールカウンセラーとの相談活動を進め、行事など工夫を凝らして実施しています。子どもたちと一緒にできることを考えることで、厳しい状況を受け入れ、前に進むとうとする意欲に結びつけることができています。

問

長引くコロナ禍の中で、子どもたちの心のケアはどうされているのでしょうか。

心身の健康の役目を担う部活動が2023年より休日は、「地域部活動」として位置づけられるが、

問

「心の悩み」について、どのように把握し、対応されているのか。

答

○教育部長

プリントによる学校生活アンケートやタブレットを活用して学級集団の状況を調べる「Qアンケート」を実施しています。

問

地域部活動で、今後まず着手していく事柄はどのようなのでしょうか。

答

○教育部長

まず、取りかからなければならぬことは、地域の受け皿の整備です。関係機関が意見を出し合い、議論し調整していくことが重要かと思っています。

○中山議員

スクールカウンセラー

の相談は進められているが、子どもの置かれている環境に働きかけ、問題を解決するスクールソーシャルワーカーの導入を要望します。

また、子どもたちにとって、望ましい持続可能な部活動と学校の働き方改革の両立を実現するためには地域のサポートが必要で、今後指導者不足も考えられ、最善を論議し調整をお願いします。

答

○村長

プラスチックごみに関する知識の習得と資源化率の向上、役場からプラスチックごみの排出を減らすことが必要です。

Q持続可能な暮らしへ

Aプラスチックごみの対応を検討しています

問

本村がSDGsを取り組む中で、ごみ問題、特にプラスチック

問

対応を進めるにあたり具体的なものをお聞きしたい。

答

○保健環境課長

ペットボトルの削減として、会議等で提供するお茶をリサイクル可能な素材での提供に変えます。

問

他自治体では、プラスチックごみに対して住民の理解度を上げるためのイベントを開催するところもあるが、飛島村でも周知イベントを考えてみるか。

答

○保健環境課長

周知方法は様々な形がありますので、検討します。

○中山議員

飛島村もプラスチック問題に積極的に取り組む姿勢を示したり、分別方法について住民の理解を促す必要がある。

とびしマングッズのクリアファイルをプラスチック仕様から別のものに変更したり、SDGsを学んでいる飛島学園生徒とのコラボ等対応策を推進してほしい。



橋本 渉 議員

Q 介護保険料を 一般会計の繰り入れで値下げせよ

A 制度の公平性を保つ観点から 適当ではない

問

飛鳥村の介護保険料は、愛知県下で2番目に高い保険料になっています。一般会計から繰り入れをして値下げすべきです。

介護保険法では、一般会計からの繰り入れを禁じている規定や制裁措置は一切ありません。なぜ、一般会計から繰り入れができないのかお聞きしたい。

法では、減免額については一般会計から繰り入れをしなくてはならないことになっています。現に、繰り入れをしているのではないかと。減免制度などを充実させ値下げをすべきです。

答

○村長

本村の介護保険事業は、法の理念や趣旨、原則等に基づき実施しています。

繰り入れについては、これを禁じる規定や制裁措置はないものの、国は介護保険料減免の3原則において、公正性確保の観点などから適当ではないとしています。

従いまして、本村としても一般財源からの繰り入れは法の理念に基づき適当ではないと考えています。

今後も増大する介護需要にこたえつつ、安定的な運営を考慮した介護保険事業の展開に努めていきます。

○福祉課長

一般会計からの繰り入れは、政令の施行に伴い、低所得者の方に対し実施しています。

Q ピラミッド公園を整備し、 子どもたちが遊べる公園にせよ

A 総合計画に盛り込み検討する



古台ソフトボール場



服岡緑地



問

ピラミッド公園（服岡緑地）は、

木製の遊具がありました。また、多目的広場にはバーベキュー施設などが設置された一体的な公園として整備されています。今ではピラミッドだけが残る公園になっています。子どもを連れて遊びに行っても遊べません。

隣には大きなグラウンドもありますが、あまり使われていませんので、多目的なグラウンドとして整備すべきです。今後は、多目的な公園として整備し、子どもたちが楽しく遊べる公園にすべきです。

答

○村長

ピラミッド公園（服岡緑地）については、老朽化に伴い、噴水や木製遊具を撤去しましたので、現在は、ピラミッドだけの公園となっています。

ピラミッド公園は、古台ソフトボール場や多目的広場と一体的に整備されており、近年利用者が減っているのが現状です。今後の活用については、ピラミッド公園、古台ソフトボール場等をより有益な施設となるよう、第5次総合計画に盛り込んで、検討してまいります。



八木 敏一 議員

**Q補正予算編成の
ガイドラインはあるか**

A補正予算編成方針を通知

会へ提出する補正予算の編成は、補正予算編成方針を通知しています。

問 補正予算編成に
あたり、ガイドラ
インは、策定してあるの
か。

答 ○村長
事業費が確定し

てくる12月および3月議

**Q介護保険事業費が増加して
いるのは、どうしてか**

**A1人当たりの給付費が
増加している**

認定者数の増加は緩やか
で、高齢化率に比べて認
定率は低いというのが現
状です。しかしながら、
第1号被保険者の1人当
たりの給付費が大幅に増
加しており、特に施設給
付費の増加が影響してい
ると考えられます。

問 第8期介護保険
事業計画（令和3

年度から5年度）の介護
保険事業費は、第7期と

比較すると、17%（金額
にすると2億3千万円）
も増加しています。
介護保険事業費が増加
している理由は、何です
か。

答 ○村長
本村の状況は、

施設給付費は増加して
いますが、介護者の負担
を軽減し、介護離職する
ことなく、安心して生活
していただくための環境
を整えている結果である
と考えています。
今後も、この環境を維
持し、ご本人やご家族が
安心して生活を送ってい
ただけるよう、適切な介
護保険事業の運営を進め
ていきます。

**Q村長の考える
行財政改革とは、何か**

**A村全体をより良くしたいと考え、
日々の職務を改革する**



介護保険事業計画書

問 村長が考える行
財政改革とは、何
であるのか、率直な考え
をお聞かせください。

答 ○村長
私が考える行財

政改革は、この豊かな飛
鳥村を将来にわたって維
持していくという財政面

Q執行機関と議決機関との関わりは

**A法令や村例規により任命し、
議員の立場での発言を
期待している**

での改革にとどまらず、
これまで当たり前と考え
られてきた習慣や前例に
頼ることなく、行政に携
わる職員一人ひとりが住
民の皆さまの幸せを追求
し、その実現のために日
々の職務を改革してい
くことが必要だと考えてい
ます。
単に役場内部の改革で
はなく、飛鳥村という地
域社会全体をより良くし
ていきたいという考えで
職務に取り組んでいます。

問 議決機関である
議会の議員が、執
行機関である村の委員会、
協議会等の委員に任命さ
れているが、なぜ、任命
されているのか。根拠は、
どこにあるのか。

答 ○村長
法令に基づくも

のや、村の例規によりお
願いしている委員など様
々です。

議員に委員をお願いす
ることは、議会議員の立
場で良識ある知見をもつ
て、会議での発言を期待
しているところから任命
させていただいています。
○八木議員
議決機関である議会
（議員）の役割は、条例等
を審査し、議決するところ
である。



小川 政徳 議員

Q 消防団員への活動支援を

A 国の基準により処遇改善に努める

問

飛島村消防団および消防団員へ、

今以上の活動支援を行ってほしい。

地域住民の安心、安全確保のため、消防団は休日訓練、夜間訓練など実施している。

この忙しい飛島村消防団員の待遇はどのようなものか。

また、十分な報酬は出ているのか。

答

○村長

活動支援については、2級小型船舶免許取得に対しての補助制度や、あいち消防団応援の店では、料金の割引や特典などの支援を実施しています。



令和3年度消防団観閲式

また、報酬については、国から非常勤消防団員の報酬等の基準が示されたことから、消防団員の処遇改善に努めたいと考えています。

問

飛島村消防団は、人口4700人で

140名程の団員を擁出するが、蟹江町や弥富市など人口4万から5万人で、同じ団員数を確保とは全く違う。団員のモチベーションアップのため待遇および報酬のアップ等、形で答えていただきたい。

答

○村長

消防団は火災のみならず、災害時にお力をお借りしなければならぬと考えています。そのため、一定の消防団員を確保していくためには、処遇の改善が必要ですが、周辺自治体との妥当性を考え進めていきたいと思っています。

Q 来年度のプレミアム商品券は

A 継続して販売する

答

○村長

商工会より、来年度の事業においても継続して行うと伺っています。

問

今回のプレミアム率、販売状況、方法は。

答

○村長

プレミアム率は20%、販売冊数は4000冊で、おおむね2日間販売し、好評であったと聞いています。

問

近隣自治体のプレミアム率、販売状況、方法は。

答

○村長

近隣自治体の弥富市は、プレミアム率50%。また、蟹江町は、プレミアム率30%。どちらも販売状況は完売。販売方法は、郵送にて応募し、抽選での当選方式と伺っています。

問

あまりにも大盛況であったため、買いたくても買えない人がいたが、販売方法改善

来年度もプレミアム商品券は販売するのか。

答

○村長

事業を実施している商工会の皆さんの考え方を伺い、どういう販売の仕方がいいのか、よりよい方法を模索していきたいと考えています。

○小川議員

弥富市や蟹江町とは違い、プレミアム率は20%に抑え、販売数を村民1人に1セットの割合で4000冊に増やした今回の販売では、2日ほどで完売し、買うに買えない状況をなくすために、弥富市や蟹江町の良いところを取り入れた販売を行っていただきたい。



令和3年度飛島村商品券